地域交流事業「みんなで踊ろう！やぎさわディスコ」とは

「障がいのある人もない人も一緒に楽しめるディスコを西東京市でも開催したい」
2018 年 6 月、柳沢公民館に持ち込まれた相談から実現したのが”やぎさわディスコ”です。
（NHK ニュースで「立石ディスコ・アフタヌーン」*をご覧になったそうです）
＊立石ディスコ・アフタヌーン：東京都葛飾区登録のボランティア団体＝立石ディスコナイト実行委員会が 2005 年 6 月に開始した知的障害、身体障害のある方に心おきなくダンスを楽しんでもらうことを目的とする地域交流イベント

2018 年 10 月 市民、社会福祉協議会(ほっとネットステーション)職員、公民館職員で
実行委員会を組織し、話し合いを重ねました。（2019 年度公民館地域交流事業としての開催を目指す）
「西東京市で障がいのある人とない人とが一緒につどう場が思い浮かばない」
「日常の場で接点がない」「まちで気になる人がいてもどう声を掛けていいのか戸惑う」
「障がいのある人の集う場所も決まりがちなのではないか」
「障がいのある方の楽しみ、体を動かす機会に」
「介助をしているご家族の楽しみになったら」など様々な話が出て、

「地域で顔見知り、知り合いになるきっかけになるような誰もが気軽に集い楽しめる場所を作りたい」という思いを実行委員会で確認していきました。

2019 年 7 月　第 1 回「みんなで踊ろう！やぎさわディスコ」を柳沢公民館で開催。
（地域交流事業として公民館/やぎさわディスコ実行委員会の共催）
2020 年、新型コロナウイルス感染症流行
2020 年、2021 年は新型コロナウイルス感染症拡大防止ための中止で各年 1 回の実施となる

実行委員会ではコロナ禍における「新しい生活様式」に対応した実施の方法を模索し、
2020 年 10 月ディスコから「イスに座って！やぎさわディスコ」として実施。
2022 年は 3 回、2023 年は 4 回開催しました。

2024 年 9 月　2020 年 2 月以来 4 年ぶりに「みんなで踊ろう！やぎさわディスコ」としての開催
2024 年 12 月　初の試みとして、音楽に合わせて「生ドラム演奏」を行いました。
2025 年 2 月　コロナ禍以降最多の５０名でのディスコ実施。
当日、ドラマー(実行委員)が体調不良のためやむなく欠席。
「みんなで叩こう！生ドラム」に企画変更し、新たな試みに挑戦しました。
2026 年 2 月　2025 年度第 4 回目の「みんなで踊ろう！やぎさわディスコ」開催
本年度(2026 年度)も、やぎさわディスコをよろしくお願いいたします

「みんなで踊ろう！やぎさわディスコ」の企画・運営・実施に関心をお持ちになった方がおられましたら、柳沢公民館（042-464-8211）**に「やぎさわディスコ実行委員会見学希望」とご連絡ください。**